

【二の巻序章】

前回は福岡県の英彦山をご紹介しましたが、今回は、地元山口県に目を向けることにしましょう。山口にも修験の山と言われる山はありますが、まずは私の地元下関で有名な狗留孫（くるそん）山をご紹介いたします。

狗留孫山は、山口県下関市豊田町にある標高 616.3m の山です。この八合目には、真言宗醍醐派別格本山 狗留孫山修禅寺があります。狗留孫山修禅寺は別名、御嶽（おだけ）観音として知られた古刹であり、地元で親しまれています。

狗留孫とは梵語の音訳で「実に妙なる^{※1}成就」を意味し、心願成就のお山である狗留孫山は、古来より修験道の霊山、観音霊場として崇拝されており、弘法大師が大同二年（807）に開山、栄西禅師が中興^{※2}の祖と仰がれており、多くの高僧が留錫^{※3}されています。

※1 妙（たえ）なる：言葉で表せないほど素晴らしいこと。

※2 中興：衰えていたものを再び繁栄させること。

※3 留錫（りゅうしゃく）：僧が行脚中に一時、他の寺院に滞在すること。

霊験あらたかな真言密教寺院として藩政時代には、毛利家、毛利藩の祈願所となっていました。

260 ヘクタールにも及ぶ寺有林では樹木がうっそうと茂り、昭和 15 年 8 月には文化財保護法により全山が国の名勝に指定され、県立自然公園にもなっています。中でも市指定文化財「一本杉」は、山の歴史を物語っています。また山頂からは日本海、関門北九州の雄大な眺望が楽しめます。

登山は往復距離約 5km、累積標高は約 600m であり比較的登りやすい山です。



県立公園の看板

【狗留孫山修禅寺までの登山道】

駐車場から本堂までの道程は 750m(徒歩 20～30 分)です。

山は我をいざなう

Vol. 2 狗留孫山

駐車場も参道も整備されており、安心して登ることができますが、お参りすること自体が修行とされていますので、服装も配慮してお参りをお願いします（さすがにハイヒールで登られることはないと思いますが・・・）。

登山道途中では、鹿に遭遇することがとても多いので、急に山からガサガサと音がしても驚かず行動してください。また、俵山以西でも熊出没の情報がありますのでくれぐれもお気を付けください。

修禅寺までの参道には、樹齢数百年の樹々が生い茂っており、心休まる空間を体験できるのではないのでしょうか。



修禅寺への入り口

【狗留孫山修禅寺】

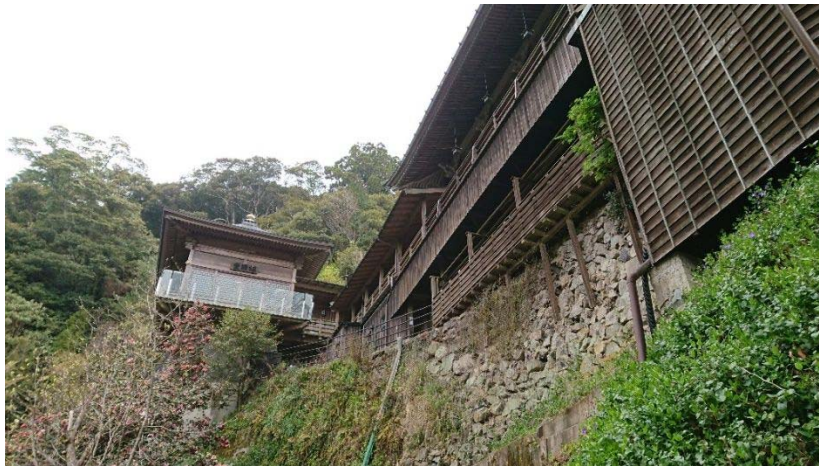
急勾配の石段の上に建立された山門は、威圧感を感じます。



山門（奥に毛利家の家紋が見えます）



本堂



祖師堂（左奥）

祖師堂には、弘法大師、中興の祖栄西禅師、聖宝理源大師、行基菩薩、神変大菩薩(役の行者)がお祀りされています。

ここからは、下関市指定文化財 天然記念物「狗留孫山修禅寺一本杉」も間近に見えます。

【狗留孫山修禅寺一本杉】

この杉は「御嶽の一本杉」といわれ、本堂前の仁王門下から左側に向かって約 60m 奥の地点にあり、推定樹齢約 1,200 年、胸高直径 3.2m、樹高 50m の巨木です。



御嶽の一本杉

下から眺めるとちょうど天を突き刺しているようであり、そばにいただけで空気がピンと張り詰める気がします。

【奥の院】

山門下より奥の院へは約1kmの登山道が整備されています。奥の院は、修行場として様々な故事来歴を残しています。中でも「摩訶不思議霊石」下部より湧出した霊水によって、後醍醐天皇の御病悩が平癒されたことは広く知られています。

御本尊は、行基菩薩御作と伝えられる聖観世音菩薩です。古来より秘仏で二十五年に一度、御開扉されてきたところ、明治の末盗難に遭われますが、霊験によって昭和六年十月十七日、無事この地にお帰りになられています。以来、毎年この日に御開扉法会が行われています。

余談ですが、豊北町に注ぐ清流栗野川は、ここ奥の院を源流としています。



奥の院の全景

【おわりに】

狗留孫山の駐車場へ行く県道と国道の交差点に、ポツンとお蕎麦屋さんがある1軒あります。うどん、田楽、ぜんざいがおいしいお店です。登山後の空腹を満たしてくれそうなので、お帰りの際に寄られてみてはいかがでしょうか。

もし、狗留孫山修禅寺についてもっと詳細な情報を知りたいという方がいらっしゃったら、狗留孫山修禅寺ホームページがありますので、こちらをご覧くださいませ。

参考資料

- ・ 真言宗醍醐派別格本山 狗留孫山修禅寺 HP
- ・ 山口県の情報サイト We-Love 山口